

レインボータウン篠ノ井

～篠ノ井地区住民自治協議会だより～

Vol. 9

発行日：平成 22 年 11 月 1 日

発行者：渡邊一正

編集：コミュニティ会議

元気なまちづくり市民会議が開催されました

平成 22 年 8 月 18 日(水)午後 2 時から篠ノ井地区元気なまちづくり市民会議を開催しました。質問・要望と市当局の回答の要旨は下記のとおりです。

1 共和・今井間道路の建設工事進捗状況と完成の見通しについて

〔質問〕 共和・今井間道路新設事業における東西線の分岐点から県道犀口下居返線までの「西工区」については用地のほとんどが買収済みと聞いている。盛土工事にて実施することであるが、いつ着手しいつ完成の見込みか。

〔回答〕 県道交差点については、用地買収を今年度中の完了を目標としている。歩道設置工事については今年度中に工事を発注、平成 23 年度中に完成予定である。

共和今井線については、今年度用地買収を完了する予定。工事は平成 23 年度から 7,000 立方メートルの盛土からなる路体工事から着手する。

平成 24 年度は道路の両側の擁壁など構造物の工事を行い、道路本体工事を完成させる。平成 25 年度には舗装、植栽、信号機などの道路附属施設の工事を行い、供用開始の予定である。

2 篠ノ井イヤーと将来の篠ノ井地区の観光振興について

〔質問〕 過去にイヤーキャンペーンを実施した地区では観光協会などの観光振興の組織があり、ノウハウやマンパワーに長けている。

しかし、篠ノ井地区にはそのような組織がなく、云わば素人集団の準備委員会では限りがある。市としては、人・物・金銭的な支援についてどのような考えか伺いたい。

〔回答〕 人的部分の支援については、篠ノ井イヤーの準備事務に携わる担当者雇用について、国の緊急雇用創出事業を活用できないか検討している。秋口までに目途を付け支援していきたい。(追記：10 月 1 日から担当者を 2 名雇用しています。)

3 茶臼山一帯の更なる集客について

〔要望〕 「長野市観光地利用客数推移」では、篠ノ井地区から唯一「恐竜公園」が観光地として入っているが、ここ数年の利用客数は 30～35 万人前後である。今後においては、利用客層の分析などを行い、より積極的な集客を図ってほしい。

〔回答〕 今年度「茶臼山エリア全体の活性化構想」を策定する予定である。

その構想の中で、現施設の状況や課題、入園者アンケートの分析を充分に行い、茶臼山エリアの各施設の有機的連携を図れるよう検討したい。地域の協力、民間活力導入の可能性などについても模索していきたい。また、個人や企業から資金を募るサポーター制度や、ボランティア制度を設け、市民の皆様にも積極的に関わっていただく方法など様々な活性化策を

探り、さらに多くの集客を図っていききたい。

また、篠ノ井地区有志により「恐竜ラーメン」が生まれ話題になったように、茶臼山にちなんだ地域での活動や来園者との交流が生まれるようなオリジナル商品の開発、地元農産物の販売など篠ノ井地区の活性化につながる方策についても、地元の皆様と一緒に模索していきたい。

4 茶臼山動物園内または園外近くに展望レストラン（食堂）を設置することについて

（質問） 茶臼山にはこれといった飲食施設がない。せっかく茶臼山動物園・植物園・恐竜公園を訪れても、適当な休憩施設がなければ訪れた人々の楽しみも半減するであろうし、リピーター獲得の可能性もなくなると思われる。

長野市で休憩施設を設置し、レストラン、望遠鏡、土産品販売などの管理運営は、現在の指定管理者に任せ、ぜひとも実現していただきたい。

〔回答〕 展望レストランについては、今後、再整備計画の中で、動物園内の眺望の良い場所への設置を検討したい。

今年度策定する「茶臼山エリア全体の活性化構想」の中では、信里地区でもご提案いただいた観覧車を含めて、子供も大人も楽しめる遊園地の可能性や、動物園と恐竜公園の間などエリア内の移動手段の一つとなる乗り物の導入、旧自然史館の「恐竜館」としての再活用などについても検討する予定である。

茶臼山のキャラクターである動物、恐竜などを活用した商品開発や、地域行事などの開催を促し、地域資源として「篠ノ井イヤーキャンペーン」などに貢献したいと考えている。

5 篠ノ井中央児童センター2階学習室からの安心・安全なる避難用非常口と非常階段の早期改良について

（質問） 篠ノ井中央児童センターの避難器具については、「長野市版放課後子どもプラン」の方向性が出た段階で設置を検討するとの回答であった。2階からの避難用非常口と非常階段について、設置がいつになるのか回答をお願いしたい。

また、篠ノ井中央児童センターは昭和49年の建設で老朽化も進んでいる。建て直しの予定の有無についても併せて回答をお願いしたい。

〔回答〕 平成19年度に工事を実施し、非常時には2階南側の窓から、地面に避難梯子を降ろして避難できるようになった。避難梯子については、小学校低学年の児童にとって使用が難しく訓練ができていない。

非常時の児童の安全を第一に考え、より使用しやすい救助袋や滑り台等の避難器具を設置できないか。設置場所を含めて検討していきたい。

本年4月に通明小学校内に「通明子どもプラザ」を開設した。篠ノ井中央児童センターを引き続き維持、修繕しながら小学校内施設と連携して、放課後子どもプラン事業を一体的に推進していきたいと考える。児童センターを近々に建て直す予定はない。

6 AED（自動体外式除細動器）の設置場所を地図上に表示し各行政連絡区に1基以上、市の主導にて設置することについて

〔質問〕 各種団体における防災訓練、人命救助の訓練でも、各行政連絡区の自主防災訓練でも AED の取り扱い訓練が行われているが、いざ本番の時、どこに機器が設置されているのかわからないのが現状である。

そこで、市内各地区における AED の設置場所を地区ごとに明示した地図を作成し、各行政連絡区へ配布をお願いしたい。それによって一層の有効活用が出来るものと思われる。

〔回答〕 消防局で独自に調査を実施し、公的機関、医療機関、民間事業所等 362 施設に、現在 AED が設置されていることを把握し、設置者の了解を得て、長野市のホームページに掲載している。

AED 設置場所の地図の作成については、設置者の了解を得た上で、必要な防災会に情報提供していくので、これを元にそれぞれの地域の特徴を生かした防災マップを作成し、活用していただきたい。

現在 AED は市内小・中学校全校へ設置されている。不特定多数の市民が利用し開館時間に職員が常駐する南長野運動公園、茶臼山市民プールなどの社会体育施設には順次設置してきた。

篠ノ井地区の地域公民館については、現在 81 館が設置されているが、人が常駐でない地域公民館へは、市による AED の設置は困難である。しかし、体育施設を併設し、管理者が常駐する市立公民館への設置については、今後検討していきたい。

安全・防災部会『のぼり旗』標語決定！

安全・防災部会では、昨年に続き防犯防災に関する「のぼり旗」を作製しました。

今年度は、のぼり旗の標語を共和小学校 5、6 年生の皆様より、防犯関係 140 点、防災関係 17 点お寄せいただきました。部会にて、下記の皆様に決定させていただき、10 月 18 日（月）に共和小学校にて部会長より表彰状を贈呈しました。

なお、のぼり旗は年内に設置予定です。

22 年度標語

〔防災〕 『消したかな もう一度だけ 確かめよう』
6 年生 戸澤 洋平さん

〔防犯〕 『空き巣さん こっそり待ってる 閉め忘れ』
6 年生 金澤 篤而さん



23 年度標語

〔防災〕 『非常時に 心落ちつけ 身の安全』
5 年生 石坂 優大さん

〔防犯〕 『自転車に 防犯登録 ツーロック』
5 年生 滝沢 隆元さん



第17回篠ノ井住民福祉バザーが開催されました

10月17日(日)に通明小学校体育館を会場として開催しました。大勢の皆様にご協力いただき、大盛況のうちに終了することができました。ありがとうございました。

寄贈品点数	10,593点
来場者数	1,302人
売上金額	1,949,484円

篠ノ井地区住民自治協議会からのお知らせ

篠ノ井地区住民福祉大会

平成22年11月27日(土) 午後1時～ 篠ノ井市民会館 ホール

人権尊重と、青少年健全育成篠ノ井市民の集い

平成22年12月4日(土) 午後1時～ 篠ノ井市民会館 ホール

安全・防災部会講演会

平成23年1月30日(日) 午後2時～ 篠ノ井市民会館 大会議室

レインボータウン篠ノ井は、「“あい”のまち 篠ノ井」を目指します

『“あい”のまち 篠ノ井』とは・・・

篠ノ井地区を形成する7つの地域(中央・塩崎・共和・川柳・東福寺・西寺尾・信里)が、互いに支えあい、認めあい、励ましあいながら、住民がいとおしむような篠ノ井を創りあげていこう、という篠ノ井地区が目指す将来像を表現しています。

篠ノ井地区住民自治協議会 (事務局：篠ノ井支所内)

〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川281-1

TEL/FAX 共通 026-285-0228

E-mail rainbow-shinonoi@ivory.plala.or.jp

つながらない時は、篠ノ井支所へご連絡ください。

篠ノ井支所 TEL 026-292-2590 FAX 026-292-2927

E-mail shinonoi@city.nagano.nagano.jp